

1 派遣期日 令和5年11月2日（木）

2 派遣先 学校名：千葉県習志野市立大久保小学校
所在地：千葉県習志野市藤崎6-9-28
<https://www.city.narashino.lg.jp/school/ookubo/index.html>

3 研修内容

(1) 視察校における研究の取組

研究主題：主体的・対話的で深い学びを通して思考力を育む国語学習
～思いを明確に表現し、対話を通して読みを深める授業づくり～

習志野市立大久保小学校は、毎年国語科の文学的な文章を課題研究として、継続した取組を行っている。公開研究会は、今年度で46回目である。また、同市の大久保東小学校では、説明的な文章の研究を行い、市全体で国語科の研究に取り組んでいる。

今年度は、「多様な情報を整理し、多面的に解釈する力を育てる手立ての追求」、「自分の思いを相手に伝えるように表現する手立ての追求」に重点を置いている。

(2) 単元について

○単元名【第4学年：熱く語れ！「ごんぎつね」が長い間語り継がれてきた魅力を探ります。】

○単元の目標に迫るための手立て

「多様な情報を整理し、多面的に解釈する力を育てる手立ての追求」

① 着語読み

児童が理解しづらい難語の説明を行うことで、物語の「あらすじ」を全体で共有、理解し、整理できると考える。また、教師の発問から児童の思いを膨らませ、今後の表現の手立てとしている。

② 「問い」の精選

読みを深めるための児童個々の「問い」をまとめた「問いづくりシート」を活用して、グループ→全体で共有して話し合う。

③ 複数作品の読み比べ

作品をより多面的に解釈するために、関連する他作品を比べて読む学習を設定する。

「自分の思いを相手に伝えるように表現する手立ての追求」

① 話合い活動

対話的な活動において、主張（各自の考えの表明）→黙考（考えの再構成）→対話（質問・比較・分類など）→黙考→主張の流れで話合いを行う。

② 相手・目的の明確な課題の設定

「相手に伝えたい」「思いを語りたい」という切実な願いをもたせるために、相手・目的の明確な課題を設定する。今回は、「長い間、語り継がれてきた作品の魅力語る」という課題を提示する。

③ 魅力ワードを考える

作品の魅力の短い言葉で表現し、理由を述べることで「自分の思い」を熱く語るようにしていく。短い言葉にすることで、どのキーワードを取り上げ、どの順に伝えようとよいかを考えられるようにする。

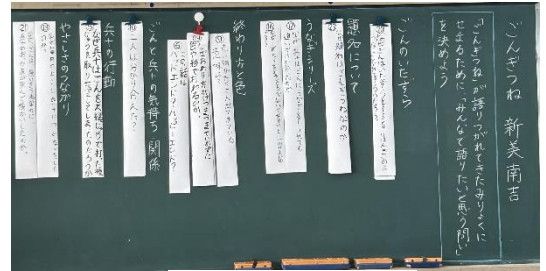
(3) 授業公開①

目標：「ごんぎつね」を読んで、各自が考えた魅力に迫るための「問い」を出し合い、条件に沿って分類・整理し、精選していくことができる。

導入では、問いの条件（①多様な意見が想定されること②叙述を根拠にして考えることができること③ねらいに迫るために考えるべき価値のあること）を確認し、話合いが円滑に行われるようにしていた。

展開では、似た問いをまとめていき、児童の意見を基に問いをまとめていた。児童の言葉を尊重し、教師の読みの押し付けにならないようにしていた。

終末では、友達と考えを共有して考えたこと、もっと知りたいと思うことをノートに記入し、振り返りをしていた。「みんなで考えた方が新しい意見が出た。」など、協働して学ぶよさを実感していた児童が多かった。



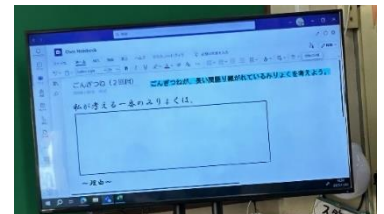
【授業の板書】

(4) 授業公開②

目標：各自が考えた「ごんぎつね」が長い間語り継がれてきた魅力を共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くことができる。

導入では、自分の考えや意見の伝え方について再確認することで、熱く語り合えるようにしていた。

展開では、どの児童もタブレットを見せながら、熱心に友達に伝えていた。「命の大切さに気付かせてくれるところ」や「ごんの気持ちの変化」など、ほとんどの児童が作品の魅力を短い言葉でまとめることができていた。



【タブレットで作成した魅力ワード】

終末では、padlet を使って振り返りを行っていた。以前作成したシートと比較して、「2回目の魅力ワードの方がまとまっていた。」や「根拠が変わった。」など、自分の意見が変化したことや読みが深まったことなどを実感している児童が多かった。

4 感想

児童の問いから課題をつくる授業の流れは、3年前に参観した時と変わらない。学習の積み重ねができているため、ねらいに迫ることができる問いを立てていた。問いを精選することにも慣れていて、「この問いが解決したら、この問いが解決できそう。」「この問いはいらないと思う。」など、自分の考えを明確にして話し合うことができていた。国語科は力が付くまでに時間がかかる「積み重ねの教科」と言われている。公開研究会に参加し、積み重ねの重要性を再確認した。

また授業以外でも、条件作文や並行読書を取り入れたり、朝のモジュール学習では、国語の活動を行ったり、本校でも取り入れていきたい実践が多くあり、大変参考となった。

今回、研修で学んだことを職員研修で伝達し、共有を図った。本校の国語科の力が向上できるよう、学校全体で取り組んでいきたい。

【教室に掲示してある国語コーナー】

これまで学習した内容が各教室に掲示してあった。一目で分かる内容で、振り返りをするのにも役立っていた。

